

神戸老眼大学会／令和7年7月23日／於：コムスタこうべ

神戸の鉄道史

追手門学院大学教授・神戸深江生活文化史料館副館長

道谷 卓

▶ はじめに

- ▶ ・日本の鉄道のはじまり
- ▶ →1872年10月14 新橋駅（のちの汐留駅）～横浜駅（現：桜木町駅）間
▶ が開業
- ▶ （世界では、イギリスで1825年に貨物鉄道が運行されたのが最初＜旅客は
▶ 1830年＞）
- ▶ ・日本は、文明開化で、イギリスの鉄道技術を継受する。
- ▶ →その**名残**が、日本の「駅」には残っている！

- ▶ ・「駅」、「ステンショ、ステーション」「停車場」とは
- ▶ →鉄道が導入された時、「station」の訳が決まらず、「ステーション」、
- ▶ 「ステンショ」と呼ばれる。
 - 明治10年代（1877年～）頃から「**停車場**」が用いられ、正式な訳語となる。また、利用者は、街道の宿場を意味する「驛（宿駅）」を用いる。
 - 1936年（昭和11）、鉄道省が職制改正＝「駅」と「停車場」を区別。
- ▶ ＊現在：JRの規程により、
 - ＜新幹線＞
 - ▶ 「停車場」＝駅・車両所・信号場
 - ＜在来線＞
 - ▶ 「停車場」＝駅・信号場・操車場

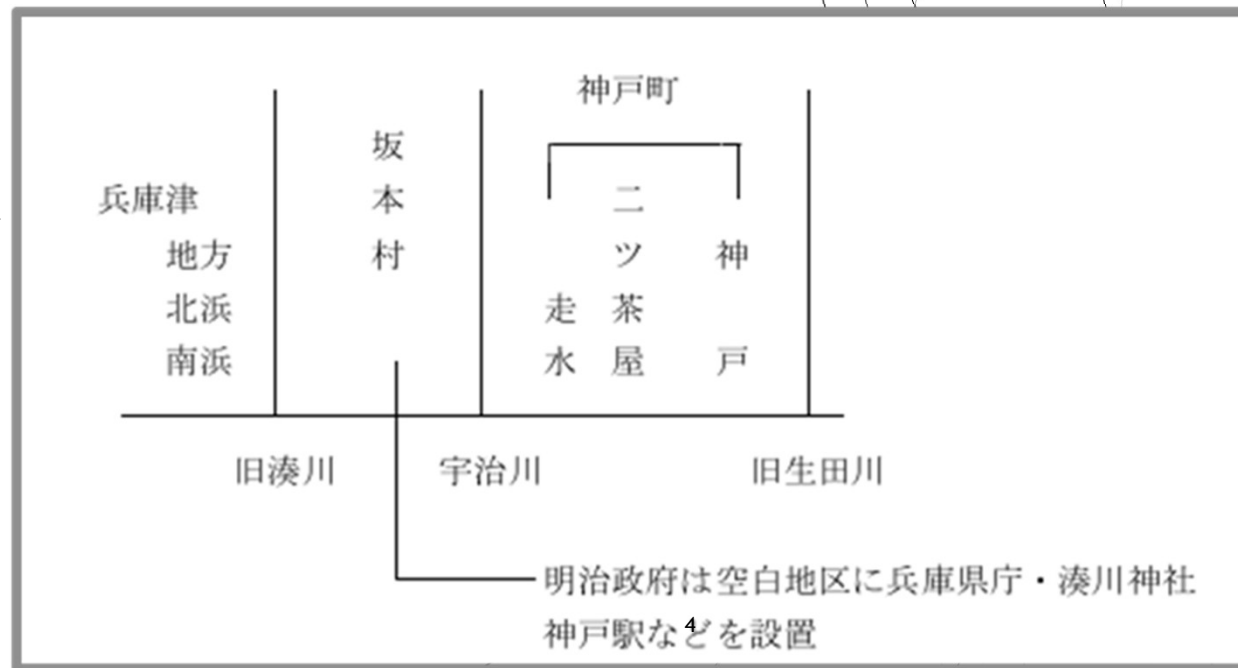
I. 神戸駅が今の場所に出来た理由

▶ ・江戸幕末から明治維新の神戸駅周辺

- ▶ 1867年5月（慶応3） 兵庫開港の勅許
- ▶ 10月14日 徳川慶喜、大政奉還
- ▶ 12月7日 海軍操練所の地を開港場として、**神戸開港**
- ▶ ➡ビードロの家と呼ばれた**運上所（税関）**の建物を舞台に神戸港の開港式挙行
- ▶ 12月9日 王政復古の大号令➡江戸幕府滅亡
- ▶ 1868年1月22日（明治元）明治政府は、兵庫鎮台設置（兵庫区切戸町）
- ▶ 2月2日 兵庫裁判所に改称
- ▶ 5月23日 **兵庫県**に改称（初代知事伊藤博文
＜摂四郡播八郡管轄兵庫県知事＞）
- ▶ 9月 **県庁**が現在の神戸地裁の場所に**移転**

▶ ・明治政府による神戸駅設置の意義

- ▶ 空白地帯の「坂本村」に神戸駅を設置！
⇒兵庫津と神戸港をつなぐ



Ⅱ. 神戸－大阪間　－官営鉄道（国鉄＜JR＞）のあゆみ－

- ▶ ① 神戸－大阪間鉄道開通
- ▶ ・ 1874年（M7）5月11日 神戸～大阪間に日本で二番目の鉄道が開通
- ▶ ＊ 政府は現在の阪神電車のあたりに鉄道を通す予定であったが、地元の酒造
- ▶ 家がゴヘラの煙で酒が腐ると反対。現在の場所に鉄道を通すことになった
- ▶ が、**芦屋川・住吉川・石屋川**が天井川のため工事が難航（トマス＝グレー、
- ▶ **ジョン＝ダイアック**の英人技師）⇒天井川の川底鉄道トンネル（日本最初
- ▶ の鉄道トンネル＝**石屋川トンネル**）
- ▶ ＊ 神戸－三ノ宮－**住吉**－西ノ宮－神崎－大阪の6駅（住吉・神崎は6月1日）
- ▶ →開業当時は上下各8本の列車が運行
- ▶ ＊ 三ノ宮駅は開業当時、現在の元町駅あたり
- ▶ ＊ 神戸・大阪間を66分で結ぶ、**相生橋**…「川がないのに、橋がある」
- ▶
- ▶

▶ *** 住吉駅のにぎわいー住吉駅と有馬道ー**

- ▶ 江戸時代の有馬への抜け道であった魚屋道にかわり住吉駅ができてからは住吉川添いに山中に入る住吉越えの有馬道を通るようになる。有馬温泉の湯治客は汽車で住吉駅まで行きそこから有馬道を通して有馬へいった。従って、明治20年代、住吉駅は有馬への表玄関であった。しかし、1899年、阪鶴鉄道（現福知山線）の開通により住吉越えで有馬へ行く人は減少。

- ▶ （1909年（明治42）の住吉駅の年間乗降客数は218,067人）

▶ *** 住吉ステーションの碑**

- ▶ 1881（明治14）年、御影本町2丁目付近の西国濱街道沿いに建てられた碑には「従是住吉ステーション迄九丁四十五間」と刻まれている。

- ▶ * 官営鉄道開設時、明治政府は、御影町に駅を設置したかった！
- ▶ ⇒地元の酒造家たちは、駅ができると蒸気機関車が停車して、石炭の煙が町
- ▶ に舞う！ = 駅の設置に猛反対！
- ▶ ⇒駅は、隣の住吉村に設置することになった。
- ▶ ☆阪神と阪急には「御影駅」があるが、
- ▶ 国鉄（JR）には「御影駅」はない！？
- ▶ ⇒国鉄（JR）「御影駅」は**北海道・根室本線**にある！
- ▶ （北海道上川郡清水町御影）

- ▶ ・ 1888年 (M21) **山陽鉄道開業 (兵庫駅起点)** – 翌年神戸駅に接続 –
- ▶ ・ **1889年 (M22)** **二代目神戸駅完成** (現在の駅舎と旧湊川貨物駅 – 現ハーバーランド) **東海道本線全通** (新橋～神戸)
- ▶ ・ **1906年 (M29)** 山陽鉄道国有化 **神戸駅が東海道本線の終点・山陽本線の起点**
= 「0^{キロ}ポスト」
- ▶ ・ 1930年 (S5) 神戸～東京間に特急「つばめ」が走る
- ▶ ・ **1934年 (S9)** 12月5日 **三代目神戸駅** = 高架駅のさきがけ、
貴賓室を持つ (貨物部門は湊川駅へ)
- ▶ * **神戸駅のホームは、南北に長い!**
駅を降りて、山側は「北」、浜側は「南」
という「神戸人の常識」は通用しない!
- ▶ ・ 1972年 (S47) **新幹線・新神戸駅開業**
- ▶ ・ **1987年 (S62)** 4月1日 国鉄分割民営化
⇒神戸の国鉄は西日本旅客鉄道株式会社 (JR西日本) へ

☆第二次大戦後の、「特急かもめ」停車駅騒動について

* 前哨戦

- ・ 1947年（昭和22） 東京―門司間に二本の急行が走り、**神戸駅に停車**
（三ノ宮駅は通過！＜戦前は2駅とも停車＞）
- ・ 国鉄は一都市一停車の原則を崩さず！
⇒神戸市当局、市議会は三ノ宮駅を神戸駅に改名して、神戸駅を湊川駅に改名すべしと提案！
しかし、神戸駅周辺の住民から反対される！
- ・ 最終的には、国鉄が譲歩して、三ノ宮駅も停車駅にする！

* 「特急かもめ」停車場騒動

- ・ 1953年（昭和28） **「特急かもめ」**（京都―博多間）運行開始！
- ・ 国鉄は、今回も、一都市一停車の原則を貫く！
停車駅：京都-大阪-【神戸市内の駅？】-姫路-岡山-広島-小郡-下関-門司-博多
＝国鉄は、前哨戦での苦い体験から、停車駅を神戸市当局に委ねる！
⇒ **下りは「三ノ宮駅」、上りは「神戸駅」に停車！**

☆ 「急行銀河」の哀愁＝神戸駅1番ホーム

- ・ 1950年（昭和25）10月1日ダイヤ改正 **神戸駅発**東京行の「急行銀河」
⇒ 1番ホームから発車（三ノ宮駅停車）
- ・ 1965年（昭和35）10月1日ダイヤ改正 大阪駅始発になる

▶ ②私鉄等のあゆみ

▶ 1)阪神 ⇒今年（2025年）が開業120周年

▶ ・1905年 三宮（滝道）～出入橋間で開通

▶ ・1933年 岩屋～三宮が地下に

▶ ・1936年 元町まで延長

▶ ＊阪国電車：1927年(S2) 阪神国道電車開業（国道2号開通と同時に）

▶ 2)阪急

▶ ・1920年 上筒井～大阪間で開通

▶ ・1936年 三宮高架乗り入れ

▶ ・御影駅付近の、「**阪急恨みのS字カーブ**」

- ▶ 3) 市電（街電＜市街地電車＞）
 - ▶ ・1910年 春日野道～兵庫間
 - ▶ ・1918年（T7） 市営化（大正から昭和初期にかけて路線がほぼ完成）
- ▶ 4) 山陽電車
 - ▶ ・1910年 兵庫電気軌道（のち宇治川電気鉄道部）開業
- ▶ 5) 神戸電鉄
 - ▶ ・1926年 神戸有馬電気鉄道株式会社開業（神有電鉄）
- ▶ 6) 神戸高速鉄道
 - ▶ ・1968年（S43）神戸高速鉄道開業
 - ▶ →阪神、阪急、山陽、神鉄を結節する車両を持たない鉄道会社
- ▶ 7) 神戸市営地下鉄
 - ▶ ・1977年（S52）神戸市営地下鉄開業（板宿～名谷間）
 - ▶ ・1987年（S62）同 新神戸～西神中央開通
 - ▶ ・1988年（S63）北神急行電鉄開業（新神戸～谷上間）
 - ▶ ・2001年（H13）海岸線開業（三宮・花時計～新長田間）
- ▶ 8) 新交通システム
 - ▶ ・1981年（S56）神戸新交通ポートアイランド線（ポートライナー）開業
 - ▶ ・1990年（H2）同 六甲アイランド線（六甲ライナー）開業

▶ Ⅲ. おわりに

- ▶ ＊鉄道と駅が地域に果たす役割とは！
- ▶ ・鉄道は、駅が点と点を結び線となり、その線が幾重にも結ばれ網の目のような路線となり、日本全国を駆けめぐる。
- ▶ ⇒「**移動手段**」としての側面
- ▶ ・駅は、人と人との交流の場、いろいろな出会いがあり、文化が育まれていく。その地域だけでなく、地域以外の人々が駅を訪れることで、様々な交流が生まれてくる。
- ▶ ⇒「**交流の場・文化を育む場**」としての側面